



# 京都教育大学

(京都府)



歴史豊かな国際都市・京都で日本と世界の教育を学ぶ

## ◇大学紹介

### ○大学の概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、142年の歴史と伝統を有しています。

本学は、教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院には修士課程の教育学研究科と専門職学位課程の連合教職実践研究科の2つの研究科があります。

京都教育大学は京都市の南部に位置しています。京都は日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

### ○国際交流の実績

#### ・留学生数

年 度	2014	2015	2016	2017	2018
留学生数	54	47	36	25	28

#### ・受入実績

年 度	2014	2015	2016	2017	2018
教員研修	8	7	6	7	8
留学生数					

## ◇教員研修コースの概要

### ○コースの特色

一人一人の希望に応じたきめの細かい指導を行います。研修や生活支援をしてくれる日本人のチューターとの交流も活発です。

### ○受入定員 10名

### ○研修コースの概要

#### ・日本語教育

日本語研修を必要とする場合、最初の半年は京都大学で日本語教育を受けます。日本語能力が十分な場合は、日本語研修コースには参加せず、本学で1年半の研修を行います。本学でも日本語授業が開講されており、日本語学習を継続することができます。

#### ・専門教育

【研究指導】希望する研究テーマについて指導教員の指導を受けながら論文を作成します。

【留学生対象科目「世界の教育」】様々な国の留学生と日本や世界各国の教育について学ぶことができます（使用言語は日本語）。

#### ・見学・地域交流等の参加型科目

「世界の教育」の一貫として附属学校の授業に参加します。授業科目以外に、地域との交流プログラムや京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNIKに参加できます。これらのプログラムでは、地域の学校の訪問や自分の国の紹介を行います。

#### ・その他

年1回の実地見学研修（一泊二日）に参加することができます。

## ◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も指導教員がメールで相談に応じています。修了生は研修の成果を活かして各国の学校現場で活躍しています。大学院に進学しさらなるキャリアアップを目指す人もいます。

## ◇宿 舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

### ○宿舎及び宿舎費

・単身用 （28,000円/月）

・世帯用 （60,500円/月）

入居時に保証金として家賃の1ヶ月分が必要です。これは原則、帰国時に返金されます。また、契約には日本国内に在住している保証人が必要です。保証人の代わりに、保証会社を利用することもできます（約15,000円/年）。

### ○宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、カーテン、家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます。

（約15,000円/年）

### ○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにショッピング街、病院、公園、図書館等、があります。大学まで電車で約30分、京都の中心まで約1時間です。日本語研修終了後、空きがある場合は、本学の宿舎（大学まで徒歩15分）に入居することができます。

## ◇問合せ先

大学所在地  
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地  
担当部署：学生課学生支援グループ  
連絡先 TEL: +81 (0) 75-644-8159  
FAX: +81 (0) 75-644-8169  
E-mail: intel@kyokyo-u.ac.jp

ホームページアドレス  
<http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ttp/>

大学名： 京都教育大学（大学番号28）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
28001	<a href="#">田爪 宏二 准教授</a>	htazume@kyokyo-u.ac.jp	教育心理学 発達心理学	1. 認知発達と教育的支援に関する心理学的研究 2. 認知的情報処理のメカニズムとその発達に関する心理学的研究	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28002	<a href="#">宗雪 修三 教授</a>	muneyuki@kyokyo-u.ac.jp	日本文学	1. 日本古典文学の研究	日本語	1人	古典文法を理解し一定度古文が読めること。
28003	<a href="#">浜田 麻里 教授</a>	hamadam@kyokyo-u.ac.jp	日本語教育	1. 第2言語としての日本語の教育の内容と方法に関する研究 2. 異文化接触場面における諸現象に関する研究	日本語 または英語	1人	1年以上の日本語教育実践又は外国語教育指導の経験を有すること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、もしくはTOEFL 61点(iBT)以上に相当する英語運用力を有すること。（過去5年間の受入実績：韓国5）
28004	<a href="#">谷口 匡 教授</a>	tadashi@kyokyo-u.ac.jp	日本文学	1. 日本漢詩文の研究	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28005	<a href="#">天野 知幸 准教授</a>	amano@kyokyo-u.ac.jp	日本文学	1. 日本近現代文学の研究	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28006	<a href="#">中俣 尚己 准教授</a>	nakamata@kyokyo-u.ac.jp	日本語学 日本語教育	1. 日本語の研究およびその教育への応用	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28007	<a href="#">平石 隆敏 教授</a>	hiraishi@kyokyo-u.ac.jp	哲学 倫理学	1. 哲学・倫理学研究の現状及び現代の哲学・倫理学的諸問題についての基礎知識を深める。 2. 研究テーマに関する専門書の講読	日本語	1人	受入分野と同じ研究テーマであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。（過去5年間の受入実績：韓国1）
28008	<a href="#">山下 宏文 教授</a>	mountain@kyokyo-u.ac.jp	社会科教育 環境教育	1. 社会科や環境教育についての基礎知識を深める。 2. 研究テーマに関する文献の講読 3. 小・中学校の授業の実地研修	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 初等教育の教員であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。（過去5年間の受入実績：韓国5）

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
28009	<a href="#">石川 誠 教授</a>	ishikawa@kyokyo-u. ac. jp	経済学	1. 環境経済・環境政策に関する研究	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28010	<a href="#">荻野 雄 教授</a>	ogino@kyokyo-u. ac. jp	政治学	1. 政治思想または思想史に関する研究 2. 研究テーマに関する専門書の講読	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28011	<a href="#">西本 有逸 教授</a>	yuitsu@kyokyo-u. ac. jp	英語教育学	1. 外国語あるいは第二言語としての英語教育 2. ヴィゴツキーの文化－歴史的理論	日本語 または英語	2人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 79～80点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績：韓国1、ルーマニア1、インド ネシア1、チリ1)
28012	<a href="#">オーバマイヤー アンド リュウ 准教授</a>	andrew@kyokyo-u. ac. jp	英語教育学 言語教育	1. Teaching English as a Foreign Language 2. Vocabulary Learning	英語	1人	TOEFL 75点(iBT)以上であること。
28013	<a href="#">黒田 恭史 教授</a>	ykuroda@kyokyo-u. ac. jp	数学教育	1. 数学教育学の国際比較研究 2. 脳科学と教育学の学際的研究	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度である (過去5年間の受入実績：韓国1)
28014	<a href="#">深尾 武史 教授</a>	fukao@kyokyo-u. ac. jp	数学教育	1. 関数解析、発展方程式 2. 数学的活動にかかわる教材開発	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。
28015	<a href="#">梶原 裕二 教授</a>	kajiwara@kyokyo-u. ac. jp	生物学 理科教育	1. 日本の生物教育 2. 動物発生学	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。(過去5 年間の受入実績：ガボン1)
28016	<a href="#">田中 里志 教授</a>	stanaka@kyokyo-u. ac. jp	地質学 理科教育	1. 日本の地質の研究・観察 2. 日本の地学教育について理解を深める	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28017	<a href="#">谷口 和成 准教授</a>	guchi@kyokyo-u. ac. jp	物理学 理科教育	1. アクティブ・ラーニングによる科学教育および 物理教育 2. 探求活動	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。 (過去5年間の受入実績：韓国1)
28018	<a href="#">伊藤 伸一 准教授</a>	itoh@kyokyo-u. ac. jp	情報学	1. Computational Physics	日本語 または英語	1人	研究テーマが同じであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 61点(iBT)以上であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
28019	<a href="#">井上 えり子 教授</a>	eriko@kyokyo-u. ac. jp	家政教育	1. 日本の家庭科教育の内容を知る	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられること。
28020	<a href="#">深沢 太香子 准教授</a>	fukazawa@kyokyo-u. ac. jp	被服環境学	1. 着衣系における温熱生理 2. 衣服と健康・安全	日本語 または英語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 65点(iBT)以上であること。
28021	<a href="#">延原 理恵 准教授</a>	nobuhara@kyokyo-u. ac. jp	住居学	1. 住まいの安全と防災教育 2. バリアフリー、ユニバーサルデザイン	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28022	<a href="#">權 眞煥 講師</a>	kwon@kyokyo-u. ac. jp	生活工学	1. 非言語コミュニケーション 2. 時間知覚と感覚統合 3. 人間工学と教育環境デザイン	日本語 または英語 または韓国語	1人	日本語または英語または韓国語で研究指導が受けられる程度であること。
28023	<a href="#">村田 利裕 教授</a>	tomurata@kyokyo-u. ac. jp	美術教育	1. 日本の美術教育について知識を深める。 2. 指導方法について 3. 評価	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。（過去5年間の受入実績：韓国1）
28024	<a href="#">田中 多佳子 教授</a>	taka@kyokyo-u. ac. jp	音楽学	1. 日本の音楽文化と歴史についての知識を深める。	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28025	<a href="#">中 比呂志 教授</a>	gori@kyokyo-u. ac. jp	体育学 スポーツ・システム	1. 日本と母国との子どものスポーツ環境の比較 2. 日本と母国のスポーツ振興施策の比較 3. 日本と母国の子供の体格・体力（発育発達）の比較 4. 日本と母国の学校体育カリキュラムの比較	日本語	1人	受入分野について興味・関心があること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28026	<a href="#">井谷 恵子 教授</a>	itani@kyokyo-u. ac. jp	保健体育	1. 日本の体育科教育についての知識を深める。 2. 研究テーマに関する専門的研究 3. 小・中・高の実地研修	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。（過去5年間の受入実績：韓国2）
28027	<a href="#">森 孝宏 教授</a>	morit@kyokyo-u. ac. jp	臨床心理学 教育心理学	1. 学校精神保健についての知識を深める 2. 摂食障害などの研究テーマに関する論文購読（英語または仏語、または伊語）	日本語	2人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。 フランス語、イタリア語または英語のどれか1つで書かれた論文が理解できること。

連合教職実践研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
28028	<a href="#">佐々木 真理 准教授</a> (留学生受け入れ担当)  <a href="#">小松 貴弘 教授</a> (コース主任)  <a href="#">笹沙 知章 教授</a> (副研究科長)	renkoku@kyokyo-u. ac. jp nsasaki@kyokyo-u. ac. jp	教育実践高度化 高度教職実践 教職教育	<方法> 研修生は研究テーマに応じて「授業力高度化コース」「生徒指導力高度化コース」「学校経営力高度化コース」のいずれかに所属する。指導教員は本研究科所属の23人の中から適任者が担当する。 <内容> 本研究科の授業の受講 各種教育機関の見学 本研究科の各種行事への参加 小中学校での国際理解教育への参加	日本語	3人	授業の受講、各種教育機関の見学等に必要な日本語能力を有すること。 小・中学校の幹部教員及び行政機関職員を歓迎する。 本研究科の概要、開設授業科目、所属教員とその専門分野については本研究科ホームページに記載がある。  <a href="http://renjissen.kyokyo-u.ac.jp/index.html">http://renjissen.kyokyo-u.ac.jp/index.html</a> 受け入れ実績： 2014年度1人(インドネシア)、2016年度2人(韓国)、 2017年度1人(チリ)、2018年度1人(韓国) 問い合わせ先は、renkoku@kyokyo-u.ac.jp または佐々木准教授(nsasaki@kyokyo-u.ac.jp)まで。